

ひかりのこ

7月園便り

聖ミカエル幼稚園

2012年6月22日発行

月主題：きもちいいな

聖ミカエル幼稚園は保護者の方々が来園される機会がとても多いのですが、みなさん、自分のお子さんだけでなく、たくさんのお子さんにあたたかく声をかけてくださいます。先日、年中さんのお母さんがこんなことをおっしゃっていました。

「ミカエルのお母さんたちって、自分の子どもだけでなく、みんなでミカエルの子どもたちを育てていこうとする雰囲気があるんですね。この幼稚園に入ってから、子どもって一人で育てるんじゃなくて、社会の大人みんなで育てるんだって教えられました。」 こんな雰囲気の中で育てられているミカエルの子どもたちって、ほんとうに幸せだなあ、とつくづく感じました。

また、6月にお願いしたホームページの「保護者の声」の原稿もたくさんの方が協力していただきました。内容はホームページでご紹介していきますが、保護者の皆さんの聖ミカエル幼稚園に対する温かな思いに、私たち教員は「よし、明日も頑張ろう！」と勇気づけられました。これからもその思いに甘えることなく、より努力して、毎日子どもたちと真正面から向き合っていきたいと思っております。（なお、寄せていただいた原稿はホームページの「保護者の声」のページに5名ぐらいずつ掲載し、更新していく予定です。また、原稿はこれからも募集中です。）

さて、いよいよ7月。夏の到来です。夏休みを目前にして、幼稚園では、二つの大きな行事を控えています。まず運動会。現在子どもたちは毎日のように運動会に向けて真剣に練習を重ねています。きっと7月7日にはお子さんの成長した姿をお見せできることでしょう。私も今からとても楽しみにしています。

13日には有志のお母さん方が企画、運営していく「夏祭り」を予定しています。子どもたちがワクワク、楽しんでくれるように、いろいろな工夫をしてくださっています。夏のひと時、子どもたちが屋外の気持ちの良い空気とたくさん大人の愛情の中で、心から行事を楽しみ、そしてすくすくと成長していくことを願っています。

園長 渡部 良子

キリスト教保育

あなたは誰ですか?」「わたしは桃太郎です。」「あなたは誰ですか?」「私は〇〇商社の係長です。」あなたは誰ですかという質問はとても短い質問です。が、実はとても奥深い質問でもあります。多くの方が自分のアイデンティティを、自分の職業、〇〇君の母と言う誰との関係、行っている役割から探します。或いは、自分の学歴、自分が持っているもの、自分が置かれている状況と環境からそれを探そうとする場合もあります。しかし、それは正しい答えではありません。例え、自分のアイデンティティだった職業から退職したら、誰々との関係が切れたら、行っている役割が終わったら、自分のアイデンティティはどうなりますか。

聖ミカエル幼稚園では、一人一人のお友たちが、「神様に愛されるため生まれた存在」だと教えます。職業でもなく、誰との関係でもなく、役割でもなく、神様に愛されている存在であることを知ることが大事です。すべてがここから始まるのです。聖書には次のような御言葉があります。

「主の御目にわたしは重んじられている。わたしの神こそ、わたしの力。」

自分自身が愛されている存在であることを知ること、やる気も、モチベーションも、勇気も、自信感もその他すべてのいいものも、ここから芽生えてくるのです。ミカエルの子どもたちは、神様に愛されるため生まれ、今もなお神様に愛されている存在です。いつまでもそれを忘れないように育てて行きたいです。

チャプレン 司祭 ジョシュア 李 香男